

## 学修支援センター企画 人間発達学科講演会

### 「元パラリンピック選手がいま伝えたいこと」

**実施日時**：2019.7.4（木）3 限目 13：00～14：30      **場 所**：5号館3階 531室

**講 師**：千葉 祇暉 氏（2020年パラリンピック・ワーキングチームエキスパートメンバー）

**参 加 者**：人間発達学科4，2年生、健康栄養学科学生、本学教員、仙台市民（1） 計106名

バルセロナ、アトランタ、シドニーなどのパラリンピック・車椅子陸上競技（100m）に出場した千葉祇暉氏をお呼びしての講演会です。

千葉氏の実体験を基に、大怪我から立ち直って日本代表にいたるまでの努力と苦労、パラリンピック会場での出来事、ボランティアやパラリンピックの意味、日本と海外のインフラの比較、日本の共生社会、インクルーシブ教育について、障害者の視点から鋭く突いた内容で、学生を含め参加者は目の覚める思いだったことと思います。たくさんの幅広い話題や視点に触れ、学生もこれまでの態度やこれからの自分の生き方を見つめる機会にもなったようです。「もっと積極的な人になりたい」「共生を大事にしていきたい」等々、ポジティブな感想が多数あり、学びの多い講演会であったことが伺えます。マイクを使わずに教室いっぱいに響くほどの声でお話される姿に、この教室で一番元気だったのは千葉先生、という学生の感想もありました。終了後には控え室に尋ねてくる学生や「また、千葉先生の話を知りたい」という要望もありました。

先生には東京より遠路はるばるお越しいただき、本当にありがとうございました。

